

1 句動詞を学習する上で難しい点

句動詞を学習する上での難題の一つは、**文字通りの句動詞** (具体的な意味をもつ) と **比喩的な句動詞** (抽象的な意味をもつ) の違いです。しかも、両者の違いだけでなく、「いくぶん比喩的な」あるいは「ある程度文字通りの」といった**両者間のグレーゾーン**もあるのが難しいところです。ある特定の句動詞が文字通りに用いられる場合と比喩的に用いられる場合の間には**徐々の変化**または**変動範囲**があるとも言えます。

例えば次の文はどうでしょう。(add up は p.090 で既出です)

- These facts don't **add up**. 「これらの事実はつじつまが合わない」

これは add up は add up all the numbers (すべての数字を合計する) を比喩的に小さく拡張したにすぎません。

もう一例あげます。

- Pork does not **agree with me**. 「豚肉は私 (の好み) に合わない」

この agree with はおそらく I agree with Jim. (私はジムに同意する) の大きくて比喩的な拡張でしょう。

では次の2つはどうでしょうか。

- **bring out** the old photos 「古い写真を取り出す」
- **bring out** the best in her 「彼女の長所を引き出す」

「写真を取り出して誰かに見せる」ことは「彼女の中に存在している最良のものを明らかにする」こととさほど変わらないと言えます。学習者にとって、この「**意味の連続体**」(文字通りの句動詞⇄比喩

的な句動詞) の中を想像力を働かせて容易に行き来できるようにすることは句動詞を習得するために非常に重要です。

この章で、そしてこの本を通して、私が句動詞と呼んでいる動詞とパーティクルの組み合わせのいくつかは、一部の文法書ではそのようには認識されていないでしょう。これは、walk across the street (通りを横切る) のような表現は、それを構成する単語から容易に理解できる表現だからです。しかし、私は句動詞を広い定義でとらえ、このような表現も句動詞の範疇に入れていきます。なぜなら、**比喩的な意味をもつ句動詞も単純で文字通りの組み合わせをもとにつくられたものであり、この組み合わせこそが比喩的な意味を理解することを可能にしてくれるから**です。

2 句動詞をマスターするためのもう一つのポイント

そして、これらの句動詞をマスターすることに関するもう一つのポイントは、それらを**日本語の類似したイメージに結び付ける能力**です。次に例を示します。

文字通り (具体的)	比喩的 (抽象的)
The dog rolled in the snow. 「犬が雪の中に転がり込んだ」	The money rolled in . 「大金が転がり込んだ」
I saw through the hole. 「私はその穴を通して見た」	I saw through his lie. 「私は彼のウソを見抜いた」
The goat jumped out into the road. 「ヤギは道路に飛び出した」	The answer jumped out at me. 「その答えがぱっと頭にひらめいた」

以下にさらに多くの対照例を示します。想像力を文字通りのものから比喩的なものへと飛躍させてみましょう。そうすることでみなさんは句動詞のレパートリーを増やすことができるのです。